

<別紙>

「メンタルヘルスケアサービス」の機能概要について

「メンタルヘルスケアサービス」は、「ストレスチェック」「ラインケア」「セルフケア」「面接支援」の4つの側面から企業のメンタルヘルス対策を支援するサービスです。

1. ストレスチェック義務化法への対応をサポートする「ストレスチェック機能」

厚生労働省研究班が作成した「職業性ストレス簡易調査票（BJSQ）」をベースとしたストレスチェック機能を搭載し、ストレスチェック義務化法への対応をサポートします。従業員は本機能を利用して、自らいつでも自身のストレス状態をチェックし把握することができます。

2. 効果的な職場環境改善活動を促進する「ラインケア機能」

従業員のストレスチェック実施状況を、定期的に自動で配信されるメール情報で把握することができます。また、ストレスチェック結果を集計し、職場が抱えるストレス状態を分析できます。更に、職場間比較や経年比較をグラフで視覚的に表示する、本サービス独自の職場分析詳細レポートを活用することで、適切な改善施策の検討や立案など、職場環境改善活動を効果的に進めることができます。

3. 従業員のメンタルヘルスを支援する「セルフケア機能」

こころのケアに効果的とされる「認知行動療法（Cognitive Behavioral Therapy、以下 CBT）」をベースにした CBT スキルツールを搭載。本ツールからの問いかけに対して、従業員が困っていることや解決したい問題を入力し、更にツールが共感やねぎらいの言葉を交えながら問いかけを重ねることで、CBT の手法に基づいたメンタルヘルス支援を行います。

これにより、従業員の気分の改善を促進し、こころの負担を軽減します。

※本機能はプレミアム契約プランで使用できます。

4.面接指導をサポートする「面接支援機能」

産業医などの医療職者が面接指導を適切かつ迅速に実施することを可能にする機能です。本機能は事業者と医療職者のシステム上での連携や労働基準監督署への報告資料を作成できるなど効率的な運用をサポートします。